

2009（平成 21）年度 東京大学 入試問題 第 1 問 解答例

- 一 人間は、不可逆的な表現の仕上げと始末へと向かう際、大きな変容に至り得る表現の微差に執着する美意識が働くということ。
- 二 推敲を行う美意識は、白い紙に記されたものは不可逆であるというイメージーションが暗黙の前提となっているということ。
- 三 不可逆な過失の累積への呵責の念が、完成度や洗練への美意識を促進し、紙メディアを主とする文化を育んできたということ。
- 四 現代のネットというメディアでは、情報には価値観や美意識がなく、皆に共有される知へと無限に更新を繰り返すということ。
- 五 白い紙に記したものの不可逆性というメディアの特性は、完成度や洗練を求める人間の美意識を生み出した。この白という感受性において失敗への危険に臆することなく潔く発する表現の強さが、感動の根源であり諸芸術の感覚を鍛える暗黙の基礎であるということ。（一二〇字）
- 六 a 吟味 b 器量 c 真偽 d 回避 e 成就